

2022年2月28日

受益者の皆さまへ

キャピタル アセットマネジメント株式会社

オーケストラ ファンド（安定コース）、ウクライナ・ロシア情勢の影響

大手メディアによりますと、米欧カナダの6カ国と欧州連合（EU）は、ロシアに対する追加制裁の一環として国際銀行間通信協会（SWIFT）の国際決済ネットワークから、ロシアの一部銀行を排除するとの決定を2月26日に発表しました。このような状況の変化を受けまして、オーケストラ ファンド（安定コース）のロシア関連証券・通貨の組入れ状況を確認したところ、組入れファンドの内、次のようにロシアに関係する証券、通貨を保有していることが判明いたしました。

【保有状況】（2022年2月25日現在）

1. ノムラ・ファンズ・アイルランド - グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド I JPY ヘッジドクラス
（基本配分比率 25%）：
ロシア国債を5%程度保有。保有分の通貨（ルーブル）は米ドルでヘッジをかけております。
2. マン・アンブレラ・SICAV - マン・AH・アルファコア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）
（基本配分比率 5%）：
ロシア・ルーブル（対米ドル）を2%程度買持ち。

【オーケストラ ファンド（安定コース）への影響】（2月25日現在）

1. ノムラ・ファンズ・アイルランド - グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド I JPY ヘッジドクラス：
組入れ比率 24.4%の5%程度。（ファンド全体の1.2%程度）
2. マン・アンブレラ・SICAV - マン・AH・アルファコア・オルタナティブー日本円クラス（ヘッジ付）：
組入れ比率 5.4%の2%程度。（ファンド全体の0.1%程度）

当社といたしましては、上記該当組入れファンドの運用会社に対して、さらにロシア関連資産の最新の保有状況の開示を要請し、今後の見通しと対応方針を確認しているところです。また、助言会社の「しさん設計株式会社」に対しても、上述同様に事実関係の確認と今後の見通しを要請し、対応について協議しております。

今後とも保有状況や投資方針を随時お伝えして参ります。引き続きまして、何卒よろしくお願い申し上げます。

以 上

<投資信託に関するご注意>

■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.3%(税抜 3.0%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0.1%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.375%（税抜き 1.25%）

投資対象とする投資信託証券： 年 0.825%~1.025%程度（税込）

実質的な負担：年 2.2%~2.4%±0.2%程度（税込）

※投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。なお、投資対象ファンドによっては、別途運用実績に基づき計算される成功報酬がかかる場合があります。

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<当資料に関するご注意>

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会